

無意味な差別、犯罪

石塚 豊菜

人は皆、同じ生き物だ。人間として生まれ
てきた以上、人としての生を全うしなければ
ならない。命が尽きるまで幸せに生きる権利
がある。そんな中、この世の中では、人種・
性別・年齢による差別や殺人、犯罪行為が多
く見られる。差別にたえられなくなり、自ら
命を絶つてしまつた人もいるだろう。この問
題を、私たちはどう改善していけばよいのだ
ろう。私はこの作文を通して、差別や犯罪を
どうしたら減らせるか、どうやったらこの社
会をもつと生きやすくなるかを考え、その内
容を色々な人に読んでもらい、一緒に考えて
欲しいと思っている。

まずは差別問題についてだ。私は三大差別
のレイシズム、すなわち人種差別について考
えてみようと思う。人種差別についての具体
例を挙げてみる。日本では、在日外国人への
人種差別やアイヌ民族への差別と偏見、ハイ
トスピーチ等が挙げられる。

政治的な話になつてしまいが、つい最近、

七月二十日に議員選挙が行われた。その街頭演説が行われている中、ニヨースを見ていると、「ヘイトスピーチ」という言葉が目に入ってきた。日本人フアースト、外国人が優遇されているので日本人の生活を保護しようという政策だった。政策自体は差別的な事はないが、選挙運動の名の下に「黒人、イスラム系の人たちが集まっている」と怖い外国人労働者は日本人のものを盗む」等の露骨なヘイトスピーチも行われていたようだ。また、各党

が排外的な政策を競っている時、外国人が優遇されているというのに違和感を持ち、調べてみた。すると、また別のニヨースで、外国人が優遇されているのは全く根拠のないデマだったことが分かった。現在、ネット上では危機感を煽る過激な言葉が出回っている。私達国民はどのような情報に振り回され、信じ込んでいるか。無意識に相手を差別しているかもしれない。日本に魅力を感じ、自分が望んで日本に移住してきた外国人の方が差別される、

そんなことがあっていいのだろうか。外国人の方が働いてくたさっているから日本は成り立っている。そのことを、感謝の気持ちを持たないでほしいと思う。そのために、×ティアリテラシーを身につけて、ネットの記事はすぐに鵜呑みにせず、一人ひとりがまちがった情報に流されないように意識することが最低限の対策になると思う。

次に、犯罪についてだ。犯罪には、殺人、窃盗、わいせつ、詐欺等、様々な種類がある。

自己満足だけのため、理由もなく犯罪を犯してゐる人はまれであり、そういないだろう。

例えば殺人について。殺人の動機として最も明いのは、人間関係のもつれによる怒り、憎しみ、復讐心だ。また、介護疲れや人生に絶望しての殺人も明い。もちろん、犯罪はしてはいけない行為である。しかし、犯罪を犯してしまう理由を作った人が他にいうことを忘れてはいけない。もしこちであればみんなことは起きなかった、お金がなくてこ

うせざるを得なかった。必ずしも犯罪を犯した人だけが悪いのではない。その原因を作った社会、人も悪いのだ。犯罪を減らすには、その原因をつくらないこと。犯罪行為をしようと思わなければ、当然犯罪は起きない。そのため、私達は他人のことを考えて発言や行動をすることができる。恨みを買わなければ復讐なんてしないし、されない。また、助け合いの心を大切にし、協力し合い乍ら生活することもある。考える。

社会の差別や犯罪行為を減らすには、まず私たちの考え方や心を改めることから始め、今の現状を知り、協力して生きていくことが大事だと思う。また、メディア、インターネットや常識を身につけ、相手は無意識に傷つけぬように過ごすのも忘れてはいけない。この作文を読む人も、読んで変わる人もあまりいないだろう。だが、少数だけでも変わる人がいれば、そこから一人、また一人と広がり、小規模でもその意識が高まれば、一つでも犯罪や差別

を減らすことができてくるかもしれない。私も、
この作文を通して学んだことを周りに発信し、
社会がより良くなるように励んでいこうと思
う。差別も、犯罪もしてはいけない。これら
をしたところで、私たちに何も×リットはな
い。何より私たちは「人間」であり、この日
本という国、組織で共に暮らす仲間なのだか
ら。